

教職員の勤務状況等調査結果【令和7年4月のまとめ】

令和7年6月 群馬県教育委員会 学校人事課管理係

毎月の勤務状況等調査に御協力いただきありがとうございます。

令和7年4月分の勤務状況等調査の集約結果を以下の通り報告いたします。

今年度分も、毎月の集約結果に加え、県内各校で行われている業務改善の取組の紹介、調査等から見えた多忙化解消のヒントなどを当課より発信していきたいと考えています。

教職員がゆとりをもって、自ら学び、子どもたちに豊かな学びを届けることが働き方改革の一番の目的です。学校や教育委員会だけでなく、保護者・地域・関係団体の方々の理解、協力を得ながら働き方改革を進めていく必要があります。先月、多忙化解消協議会から発出された「保護者・地域・関係団体向けメッセージ」も是非、参考にしてください。



令和7年4月の状況について

■令和6年4月との比較では、時間外在校等時間45時間以上の方の割合が、小・中・特の校種においては増加しています。また、全ての校種において80時間以上の方の割合は、若干の増加となりました。

年度当初は時間外在校等時間が増加傾向にあります。一方で、4年前の令和3年4月の時間外在校等時間45H以下の方の割合を比較しますと全ての校種において大幅に増加しています。

引き続き、業務量の適切な管理に御協力をお願いいたします。

		45H超	80H超
小学校	令和6年4月	36.0%	4.1%
	令和7年4月	36.9%	4.3%
		0.9pt増	0.2pt増
中学校 (義務教育 学校含む)	令和6年4月	57.4%	13.3%
	令和7年4月	58.0%	14.1%
		0.6pt増	0.8pt増
高等学校 (中等教育 学校含む)	令和6年4月	27.1%	5.7%
	令和7年4月	26.7%	6.2%
		0.4pt減	0.5pt増
特別支援 学校	令和6年4月	5.9%	0.3%
	令和7年4月	8.1%	0.5%
		2.2pt増	0.2pt増



個業から協働へのシフトチェンジの徹底（中央教育審議会より）

■多様な専門性を有する質の高い教職員集団の形成を加速するための方策について（令和6年12月25日中央教育審議会諮問）の概要と参考資料が公開されております。[文部科学省HP該当ページ](#)

資料内には、一人一人の教師が多様な業務を抱える「個業」から、業務の一部分を他の教師等と分担する「協働」へのシフトチェンジの徹底が必要不可欠であると示されています。

第3章 学校における働き方改革の更なる加速化

2. 学校・教師が担う業務の適正化の一層の推進

※学校・教師が担う業務に係る3分類

- 学校教育の質の向上のため、教師が教師でなければできないことに集中できるようにすることが重要。学校・教師が担う業務の適正化の一層の推進が必要。
- 一人一人の教師が多様な業務を抱える「個業」から、業務の一部分を他の教師等と分担する「協働」へのシフトチェンジの徹底が必要不可欠。
- 教育委員会が学校に伴走しつつ、3分類※に基づく業務適正化の徹底、調査の精選、標準を大きく上回る授業時数の見直し、校務DXの加速化等が必要。



働きやすい職場づくりを目指して

令和6年12月25日中央教育審議会参考資料より

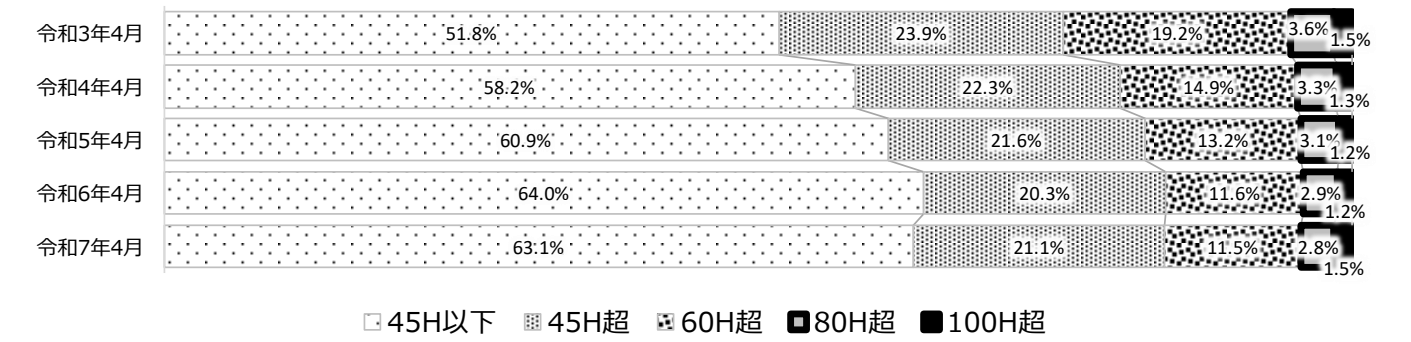
提言R7の柱の1つでもある「働きやすい職場づくり」を推進していく上で、職場環境の整備、組織力の向上は大切な要素です。上記にもありますように「個業」から「協働」へ管理職を中心に教職員が意識して業務を進めることが、組織力を高める上で大切になります。

新規採用者を含む年度末の人事異動に伴い環境が変化し、初めて勤務する学校、初めて受け持つ子ども達、初めて担当する校務分掌等々、年齢に関係なく不安や戸惑いを感じながらスタートした教職員も多いことと思います。

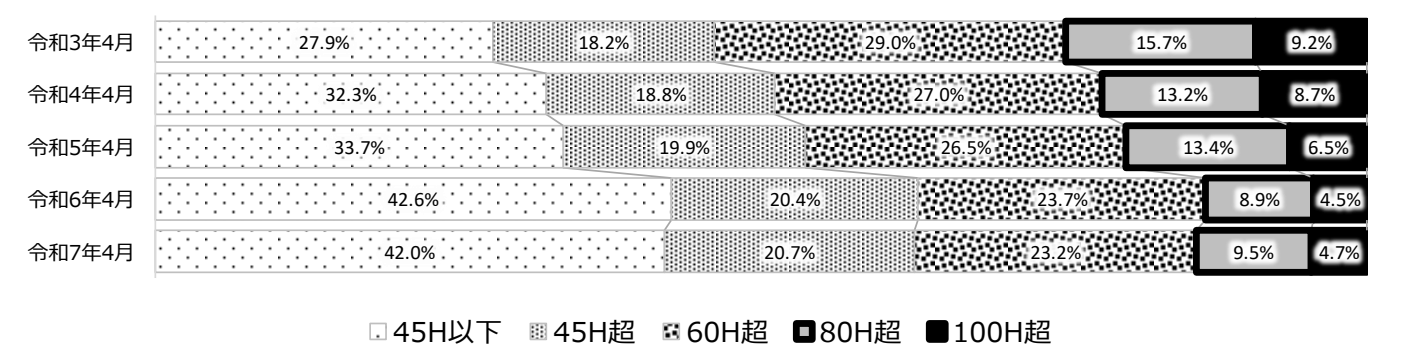
年度当初に「チーム学校」「チーム〇〇」と掲げ、校長先生のリーダーシップの下マネジメントされている学校もあるかと思います。令和7年度が始まり2ヶ月ほど経過しましたが、一人で業務を抱え込んでしまっている職員はいませんか。教職員一人一人が力を発揮すると共に「協働」を意識し、同僚性を高めることができているでしょうか。1学期の中間となる6月のタイミングで「職場環境の整備」「組織力の向上」の視点を踏まえ、この2ヶ月を振り返っていただきたいと思います。

時間外在校等時間の状況【4月の経年変化】

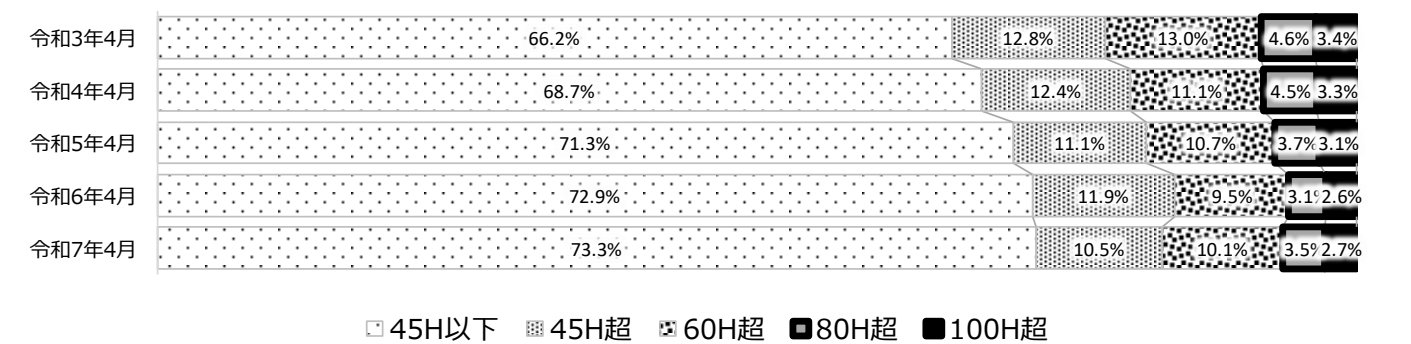
1 小学校の状況



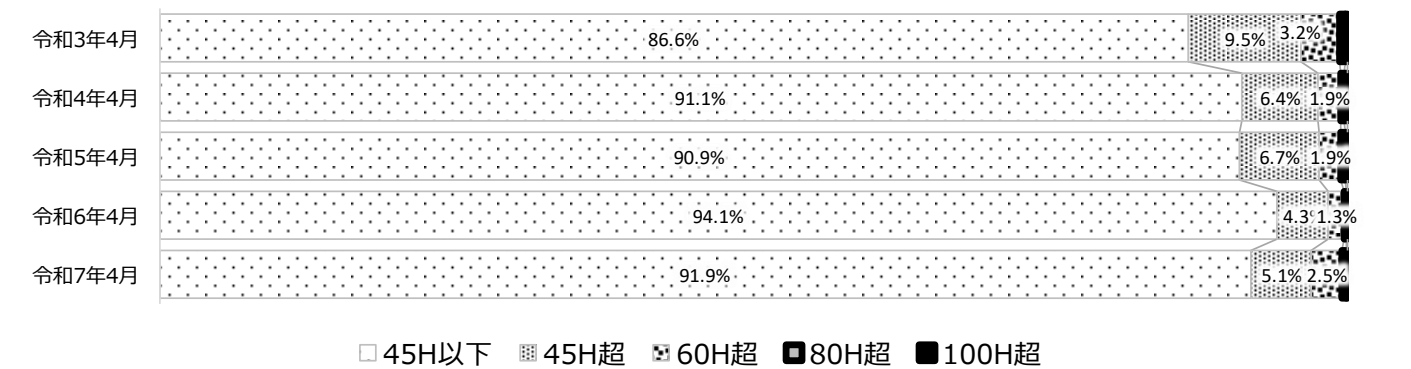
2 中学校の状況（市立の義務教育学校を含む）



3 高等学校の状況（県立・市立の中等教育学校,市立の高校を含む）



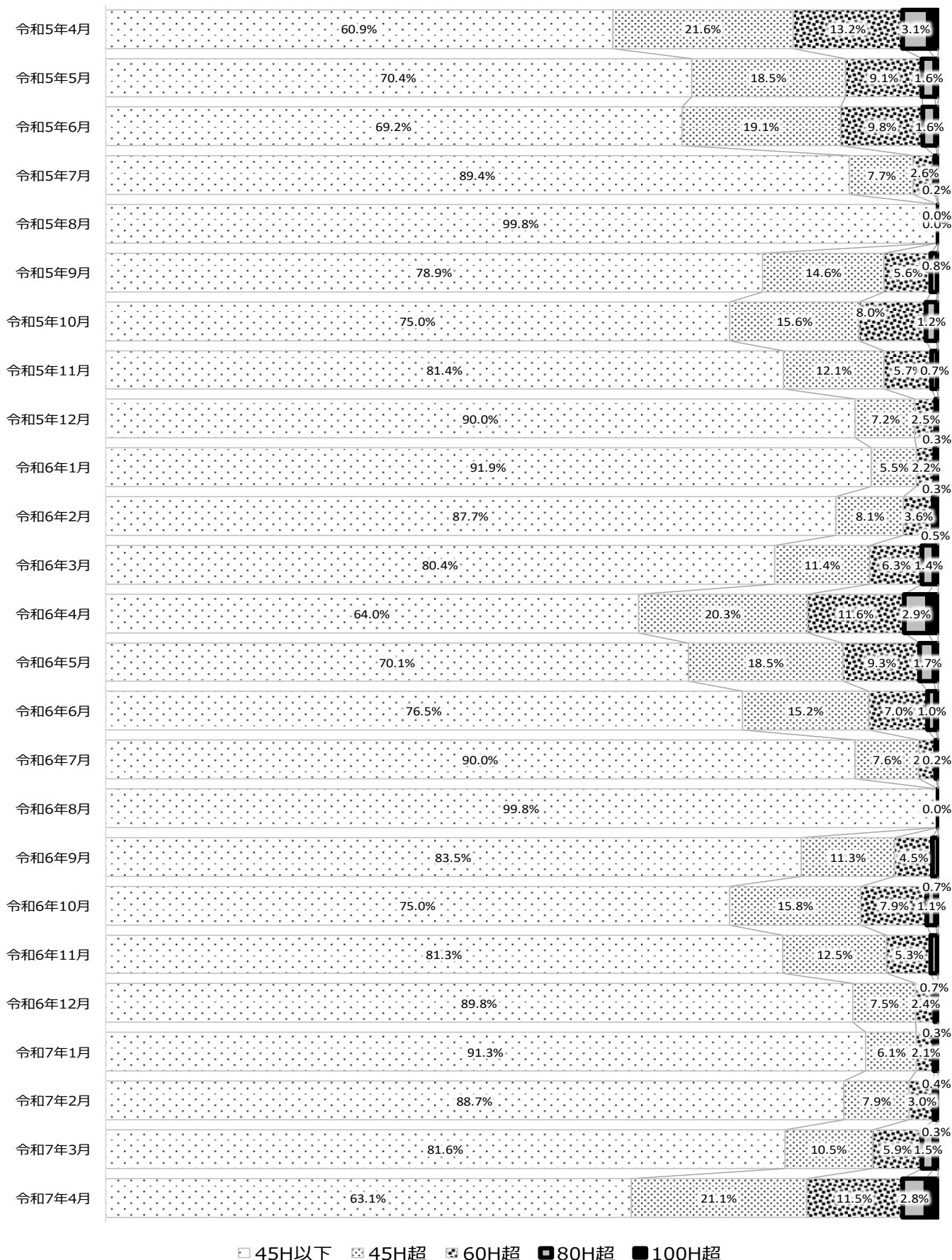
4 特別支援学校の状況（市立の特別支援学校を含む）



時間外在校等時間の状況【令和5年4月～】

[市町村立・県立の全校を対象とした校種別の時間外在校等時間の状況調査]

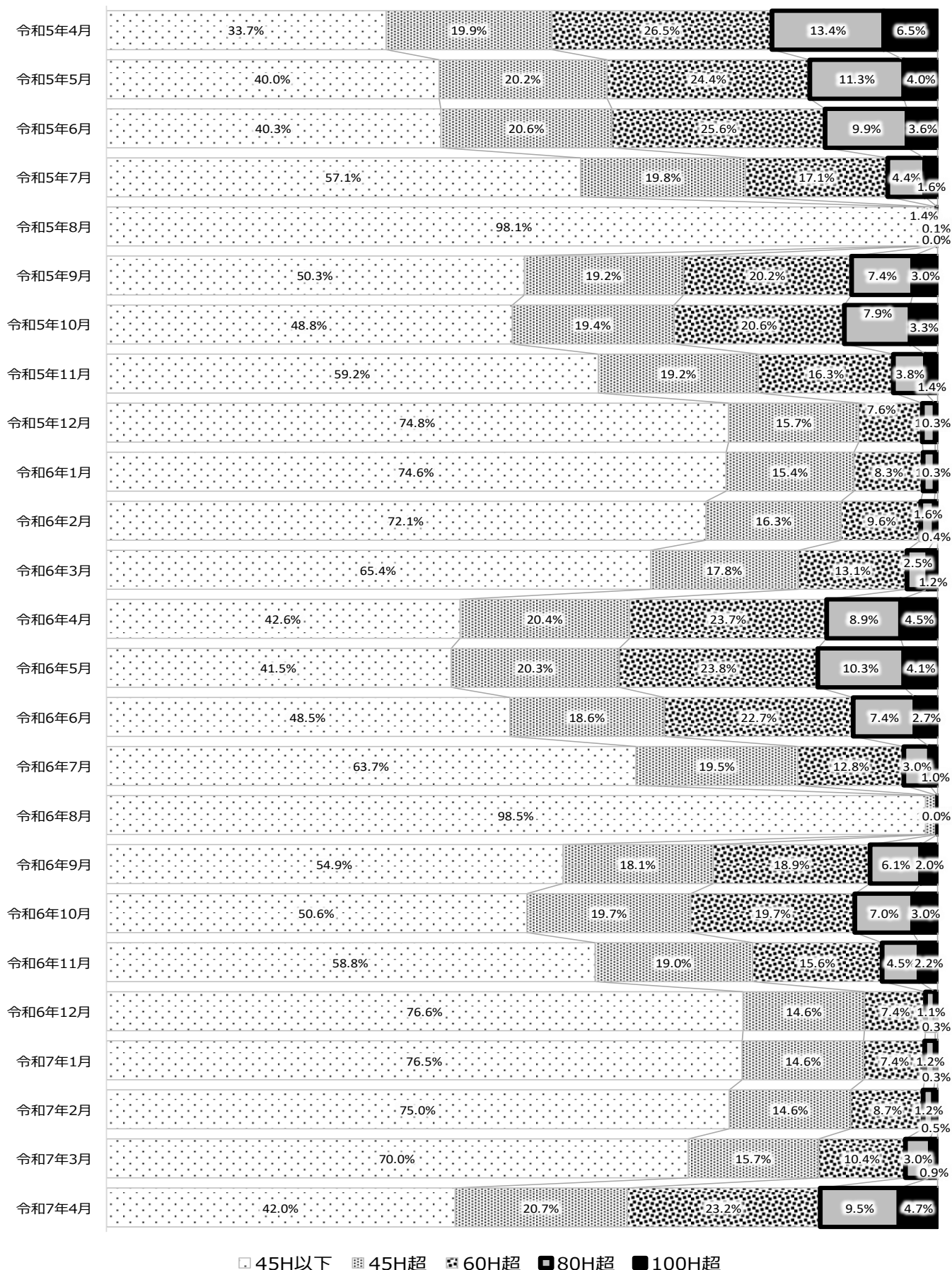
1 小学校の状況



時間外在校等時間の状況【令和5年4月～】

[市町村立・県立の全校を対象とした校種別の時間外在校等時間の状況調査]

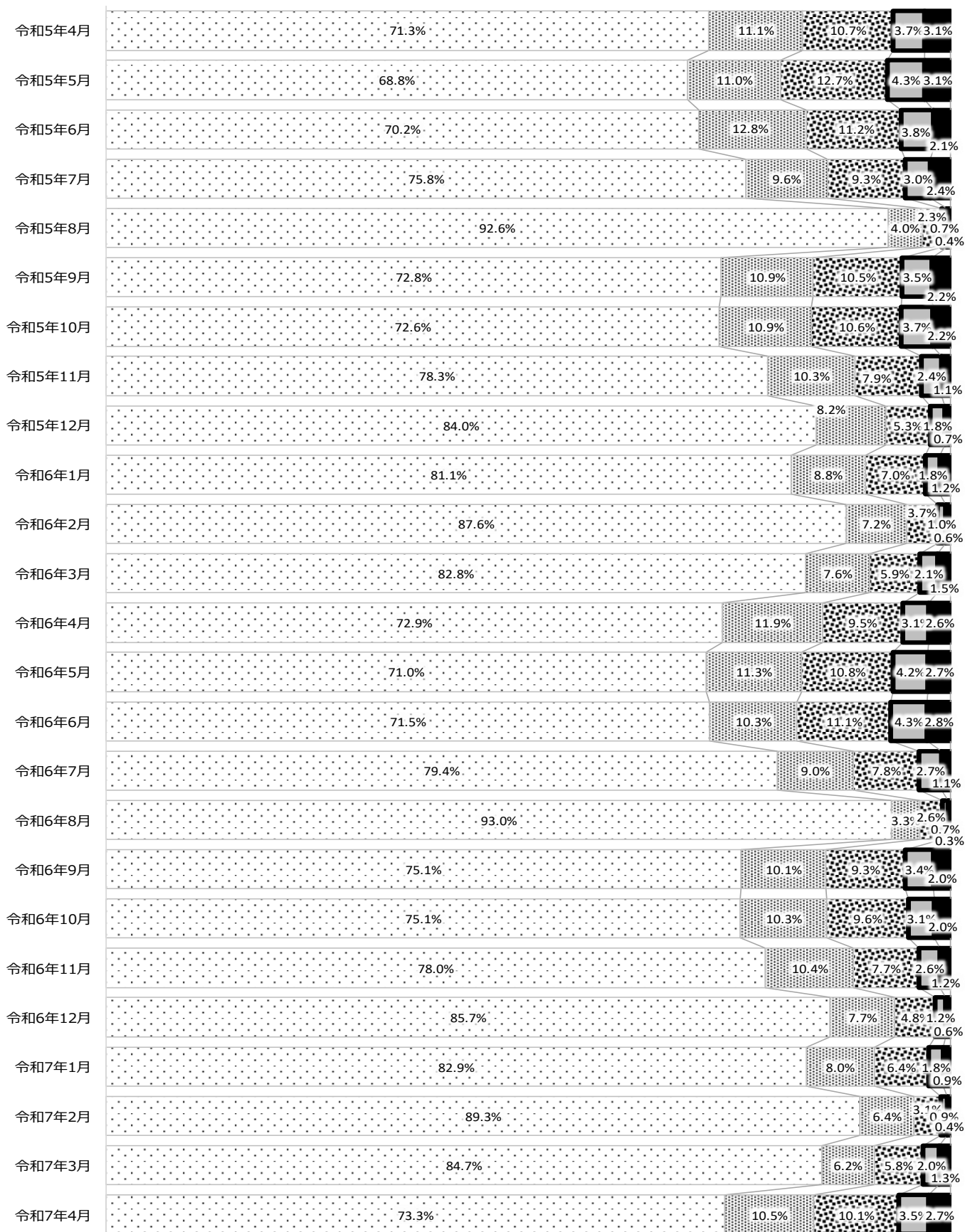
2 中学校の状況（市立の義務教育学校を含む）



時間外在校等時間の状況【令和5年4月～】

[市町村立・県立の全校を対象とした校種別の時間外在校等時間の状況調査]

3 高等学校の状況（県立・市立の中等教育学校含む）



□ 45H以下 ▨ 45H超 ▩ 60H超 ■ 80H超 ■ 100H超

時間外在校等時間の状況【令和5年4月～】

[市町村立・県立の全校を対象とした校種別の時間外在校等時間の状況調査]

4 特別支援学校の状況（市立の特別支援学校を含む）

